

フクロウの子は巣立ち後にしばらく地面で過ごします。キツネにやカラスに襲われないうちに、一刻も早く親鳥の近くの木に登る必要があるのですが、外の世界が初めてなので、すぐに歩き疲れてしまいます。今回の「末っ子フクロウ」は、巣箱から20メートルほど歩いて、裏庭の藁（わら）にたどりつきました。ここは親鳥のいる木から近いので、安心したのでしょう。10分ぐらい休んでいました。子フクロウを脅かさないように、超望遠レンズで撮影しました。最初はキョロキョロしていますが、最後に「忍び足」で去っていく様子が映っています。地上のフクロウの子の映像は非常に珍しく、とてもかわいいので、是非繰り返し見てあげてください！

